資　料　２

持続可能な国土の創造小委員会
これからの政策の基本方向に係る検討の進め方について（案）

１．検討テーマについて

本年１２月に予定している調査改革部会への「中間報告」に向けて、第４回委員会以降は「これからの政策の基本方向」に関する検討を行う。

検討に際しては、これまでのように関連分野について網羅的に行うのではなく、持続可能な国土の創造に向けて、基本的かつ重要な分野、あるいは、施策の方向が必ずしも明確でない分野など、ポイントを絞って行うものとし、次を予定する。

検討テーマ１：「持続可能な国土」のイメージ等について
検討テーマ２：環境負荷の少ない国土・地域構造への転換について
検討テーマ３：国土利用の再編、美しい国土づくりの在り方について
検討テーマ４：多自然居住地域・国土資源管理の今後の展開方向について
（時間的余裕がある場合）
検討テーマ５：全国規模の「水と緑のネットワーク」の理念・目的について

検討テーマ１：「持続可能な国土」のイメージ等について

(1)　「持続可能性」という考え方に基づいて、既に様々な分野において各種の施策が実施されているところであるが、この「持続可能性」という考え方を国土計画において展開する場合、どこに重点を置くべきなのか。本委員会では、どこに重点を置くのか。

また、空間計画である国土計画においては、全国一本だけでなく、地域ごとに議論を展開する点に大きな特徴があるものと考えるが、こういう考え方でいいのか。その際、特に地域ごとの議論が必要なものは何か。

(2)　持続可能な国土として、どのような姿を想定すべきなのか。

例えば、我が国の環境負荷、物質循環、自然環境、国土利用、国土・地域の構造等は５０年後にどのような状態にすることを想定するのか。

その際、海外、アジアとの関係についてはどのような状態を想定するのか。

検討テーマ２：環境負荷の少ない国土・地域構造への転換について

(1)　環境負荷を低減するには、経済、産業、交通等様々な分野での取組が必要であるが本委員会では、国土計画上極めて重要な国土・地域の基本的な構造や土地利用の面を中心に検討することでよいか。

(2)　(1)の観点から、都市、農山村等各地域において、どのような取組を重視すべきか。例えば、①都市部を中心にコンパクト化を進める、２流域等を中心に環境共生的な視点を導入した地域形成に向けた検討を進める等の取組が考えられるが、こういう考え方は妥当か。あるいは、その他の視点もあるのか。

(3)　新たな計画制度の下では、全国計画はブロック計画に対して方向性を与えることが期待されているが、本分野において、全国計画とブロック計画の間をつなぐものをどのように考えればいいのか。上記・のような視点のほかに、複数都道府県にまたがるような広域的な視点としてどういうものが考えられるのか。

(4)　物質の循環性を向上させるという視点から、上記視点の他に国土・地域構造や土地利用の面から特に重視すべきものはあるか。

検討テーマ３：国土利用の再編、美しい国土づくりの在り方について

(1)　今後の国土利用を考えるに当たり、大きな転換点は何か。

　これまでの国土利用は、人口増加を背景に、増大する土地利用の需要に如何に対応するのかという大きな流れの中にあった。今後は、人口減少を背景に、従来の拡大基調が反転し、土地利用の秩序ある集約化を図ることが基調になるものと考える。こうした考え方は妥当か。また、この他に大きな転換点はあるのか。

(2)　その際、①限界的な地域や著しい災害危険地、無秩序にスプロールした地域における土地利用の集約化、②増大する低・未利用地の有効活用、③国土資源管理、環境問題等に対応すべく、流域圏等新たな空間単位で総合的な土地利用を検討すること、等が大きなテーマになるものと考えるが、こうした考え方は妥当か。また、上記①、②、③の方向で施策を進めるとしたら、どういう点に特に留意すべきか。

(3)　国土の美しさに関しては従来、都市景観を中心に、建築物規制等ミクロな施策が多くを占めていたが、国土計画として、国土全体の美しさをマクロに論ずるに当たってはどういう観点が重要か。①水と緑に代表される我が国の自然環境の質・量の充実、②

秩序ある土地利用の実現という観点が重要ではないかと考えるが、こうした考え方は妥当か。また、定量的に指標化することは可能か。

検討テーマ４：多自然居住地域・国土資源管理の今後の展開方向について

(1)　現行グランドデザインで提案された多自然居住地域を今後どのように展開させるのか。また、新たな地域振興の芽をどこに求めればいいのか。

　その際、都市、農村という区分にとらわれない地域のとらえ方、新たなライフスタイルへの転換といった多自然居住地域の基本的なねらいや国土計画が検討範囲とすべき空間の大きさ等も斟酌しつつ、多自然居住地域を類型化し、重点的に検討すべき地域や課題を絞り込むことが必要ではないかと考えるが、こうした方向で取り組むことは適当か

(2)　今後の国土資源管理について、これまでとは異なる大きな転換があるのか。例えば持続可能な国土の創造に資するためには、経済性の観点とともに、国内資源を出来るだけ活用するとの観点が重要となり、これに資する管理の在り方が必要になると考えるがどうか。

　また、具体の資源管理に関しては例えば、①流域等を中心に環境共生等新たな視点を導入し、資源管理と環境政策間にブリッジを懸け得るのか、②森林管理について、多面的機能を維持・増進するための管理は、林業経営上の管理から分離し、公的サイドの関与を深めるという考え方を我が国でも導入し得るのか、③国土資源管理を効率的に実施するには市場メカニズムの活用が重要と考えるが、それはどの分野において可能性が高いのか等の論点があるが、これらについてどのように考えるか。

（時間的余裕がある場合）

検討テーマ５：全国規模の「水と緑のネットワーク」の理念・目的について

　「水と緑のネットワーク」については既に、関係機関等において具体の施策が推進されはじめているが、今後こうした取組を全国規模で総合的に展開させていくには、①個別施策を統合する理念や目的の明確化、②取組が遅れている地域への重点的なてこ入れ等が必要と考える。特に、①についてどのように考えるか。

※なお、各検討テーマ内の各論については、委員会での議論の進展等を踏まえ、見直すことがあり得る。

２．検討スケジュールについて

意見聴取会：９月１８日（木）10:00～12:00　開催

●これからの政策の基本方向について（その１）

１．今後の検討テーマ等について（自由討議）

２．「持続可能な国土」のイメージ等について

第４回：１０月６日（月）10:00～12:00　開催

●これからの政策の基本方向について（その２）

１．環境負荷の少ない国土・地域構造への転換

２．国土利用の再編、美しい国土づくりの在り方（その１）

～国土利用の再編を中心に～

第５回：１０月２７日（月）10:00～12:00　開催

●これからの政策の基本方向について（その３）

１．国土利用の再編、美しい国土づくりの在り方（その２）

～美しい国土づくりを中心に～

２．多自然居住地域・国土資源管理の今後の展開方向

第６回：１１月１０日（月）18:00～20:00　開催

●これからの政策の基本方向について（その４）

１．第４回、第５回、第６回の検討テーマ全体についての総括的検討

２．その他

●中間報告（素案）について

第７回：１２月１日（月）18:00～20:00　開催

●中間報告（案）について

調査改革部会への総点検中間報告（１２月予定）